



# つ く る

1年2組学級通信 7月30日 第11号



## 国語の授業で音読劇を頑張っています



国語の教科書にある「大きなかぶ」で音読劇の練習をしています。授業の中では、特に以下の2点を大切にしています。

- ①本文を根拠に行間を読む習慣を身に付ける。
- ②まずやってみて何がいけなかったのかを振り返って修正する。

①は、国語の物語文を読むうえで大切な点です。子どもたちとは音読劇をするにあたって、行間でどのようなセリフや動きをすればよいかを考えました。考えると言っても、何でもかんでもアイデアを出せば良いというものではなく、あくまで教科書に書いてあることを根拠に議論を進めていきました。最初は、根拠がなく、なんとなくアイデアを出していたのが、段々意見を言った後に、教科書のここを元に考えたという発言が増えてきました。

②学習の中では計画を立ててから実行することも大事ですが、時にまずやってみてその後、何をどうしたら良いのかを振り返ることも大事です。今回はまず音読劇を行い、その後、iPadで撮った動画を見て、どこを修正したら良いか、教科書の本文と照らし合わせながら考えるという流れを、何度も繰り返し行いました。「実行する→振り返る→修正をする」という学習サイクルは、あらゆる学びの場において大事になります。国語という授業を通して、こういった学習のサイクルも身に付けてほしいなと思います。



## 朝の時間を使って、プレゼンテーションをしています。

4月から自主学習として、自分たちの興味のあるテーマを調べ、情報カードに書く活動をしてきました。子どもたちは自主的に進めていましたが、6月に一人の子から「情報カードにまとめても、中々他の人に読んでもらえない。みんなに調べたことをもっと知ってほしいから、keynote に資料をまとめて発表したい。」という声がありました。クラスでこの意見に対してどう思うかを話し合った結果、多くの子が調べたことをkeynote にまとめて発表をしたいと話をしていました。理由は「もっとみんなに自分の調べたことを知ってほしいから」「動画のほうがより伝わると思う。keynote だとそれができるからkeynote が良いと思う。」ということでした。

そこで7月の中旬から、朝のマイタイムの時間を使って、自分が興味を持って調べた内容や伝えたい出来事を5分間でプレゼンテーションをする時間を設けました。各々に追究したいテーマを調べてきて、発表をし、終わった後は友達からフィードバックをもらいます。このフィードバックの時間で、発表した子は自分のプレゼンテーションのどこをどのように直したら良いかを考え、次回に活かすことができます。休み時間などにもお互いにアドバイスをし合って、より良いものを作ろうと努力する姿も見られます。

(乗松)

